

ハンブルク・ドイツ劇場
チューリヒ・シャウシュピールハウス専属俳優
原サチコ氏による
ドイツ演劇 ワークショップ/レクチャー

プログラム

2019年7月16日(火)

10:55~15:10

ドイツ文学科の受講生を中心に、原サチコ氏に発音の練習や暗唱のアドバイスをしていただき、出演作の舞台映像などを交えて、ドイツ語圏の演劇創作と現地での俳優活動について興味深いお話を伺います。

- ワークショップ<語りの暗唱> + ミニレクチャー Part 1
(10:55~12:35) 100分
<昼休み>
- ワークショップ<対話の暗唱> + ミニレクチャー Part 2
(13:30~15:10) 100分

使用テキスト(ドイツ語) : *Weine nicht, singe* (作: Dea Loher)
※2015年にハンブルクのopera stabileで初演されたリブレット形式の作品



場所: 上智大学中央図書館
9階 L921会議室
言語: 日本語、ドイツ語
参加費: 無料

※見学・聴講は申し込み不要です。
※ワークショップ(ドイツ語使用)参加希望の方は
事前にお申し込みください。
申し込み先は[こちら!](mailto:i-europe@sophia.ac.jp) i-europe@sophia.ac.jp

<原サチコ氏 プロフィール>

1964年生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。2001年ベルリンに移住、ドイツ語圏での演劇活動を始め数々の作品に出演。2004年、東洋人として初めてウィーン・国立ブルク劇場の専属俳優となる。2009年よりハノーファー州立劇場専属、2011年よりケルン市立劇場専属、2013年8月からはハンブルク・ドイツ劇場の専属と、ドイツ全土の公立劇場においても唯一の日本人専属俳優として活躍中。2019年からはチューリヒ・シャウシュピールハウスの専属となる。クリストフ・シュリンゲンジーフ、ニコラス・シュテーマン、ルネ・ポレシュなどドイツ演劇界の鬼才演出家の多くの作品に出演。井上ひさし作「少年口伝隊1945」をドイツ語訳し、各地での朗読も行っている。